

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 エン・ジャパン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4849 URL <http://corp.en-japan.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 孝二
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 藤野 孝 (TEL) 03(3342)4506
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,080	18.0	2,793	20.6	3,100	29.7	3,089	111.6
25年3月期第3四半期	10,236	—	2,316	—	2,390	—	1,459	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,090百万円(20.2%) 25年3月期第3四半期 1,738百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	139.21	—
25年3月期第3四半期	65.86	65.83

- (注) 1. 25年3月期第3四半期における対前年同四半期増減率については、平成24年3月期に決算期を変更したことにより、比較対象期間の月度が異なるため記載しておりません。
 2. 26年3月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
 3. 当社は平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割いたしました。このため、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,895	16,845	80.1
25年3月期	18,463	15,278	82.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 16,733百万円 25年3月期 15,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,950.00	1,950.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	21.50	21.50

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、単元株式数を100株といたしましたので、26年3月期(予想)期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。
 なお、25年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	20.2	3,200	15.0	3,280	15.5	2,900	87.6	130.68

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) en-Asia holdings Limited
Navigos Group, Ltd.

- (注) なお、特定子会社の異動には該当しませんが、上記の他に海外子会社7社と国内子会社1社を連結子会社としております。詳細は、添付資料P. 5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	24,641,800株	25年3月期	24,641,800株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

26年3月期3Q	2,450,000株	25年3月期	2,450,000株
----------	------------	--------	------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	22,191,800株	25年3月期3Q	22,164,100株
----------	-------------	----------	-------------

- (注) 平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、単元株式数を100株といたしました。期末発行済株式総数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)につきましては、株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(企業結合等関係)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は当期より海外関係会社9社、国内関係会社1社を新たに連結の範囲に含めております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権の各種政策の効果が顕在化する中で企業収益の改善が進み、全体として景気は回復傾向で推移いたしました。

それを受けて企業の求人ニーズも高まり、平成25年12月の有効求人倍率が平成19年9月以来となる1.03倍を回復する等、雇用環境の改善傾向が続いております。

このような状況の中、当社は主力の「[en]社会人の転職情報」において、引き続き新規顧客への販売を強化したほか、広告のクオリティ向上に向けた取組みを強化いたしました。人材紹介サービス「[en]PARTNER」においては、前四半期に引き続き組織・人員体制を充実させ、サービス拡大のために各種施策を実行いたしました。

また、採用市況が活発化してきていることから、求職者へ当社の認知度を高めるために、駅広告・車両広告等のオフラインプロモーションを強化する等、積極的なプロモーションを展開いたしました。

更に、平成25年12月には、ミドルクラス以上の求職者により訴求力を高めるために、「エン転職コンサルタント」のリニューアルを実施いたしました。

海外展開においては、平成25年12月にタイの人材紹介会社The Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd. (以下、Capstone社)を買収いたしました。タイはASEANの中でも経済規模が大きく、同国企業の管理職の給与水準は周辺諸国と比べて高い水準であり、人材紹介マーケットも成長を続けております。Capstone社はエグゼクティブを含む高年収層に優位性を持っており、これにエン・ジャパングループが持つ日系企業やグローバル企業の顧客資産やノウハウを組み合わせることで、同社の更なる成長を目指してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,080百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は2,793百万円（前年同期比20.6%増）、経常利益は3,100百万円（前年同期比29.7%増）、四半期純利益は3,089百万円（前年同期比111.6%増）となりました。

① 中途採用事業

「[en]社会人の転職情報」は、総じて企業の求人ニーズが旺盛だったことから、求人広告が前年同期を上回る掲載件数となったほか、オプション商品を利用する企業も増加いたしました。また、人材紹介サービス「[en]PARTNER」は、当第3四半期会計期間において前四半期を大きく上回る入社人数及び売上高となりました。これらの結果、「[en]社会人の転職情報」は前年同期を上回る売上高となりました。

「エン転職コンサルタント」は、人材紹介マーケットが改善傾向にあることや、顧客の人材紹介会社への拡販を進めたこと等から掲載社数が増加し、前年同期を上回る売上高となりました。

「[en]派遣のお仕事情報」は、企業の派遣社員採用のニーズが高い状況が続いたことを受けて顧客である派遣会社からの受注額が増加したこと、新規営業の強化により新規掲載社数が増加したこと等から、前年同期を上回る売上高となりました。

派遣会社の有する若手未経験者の募集ニーズに対応する「[en]チャレンジ!はた☆らく」は、販売系職種 of ニーズが高かったこと等から計画を上回る売上高となりました。

派遣会社の有する紹介予定派遣の募集ニーズに対応する「[en]ウィメンズワーク」は、大手・中堅の派遣会社においてそのニーズが増加傾向であることから、着実に売上を伸ばしました。

エンワールド・ジャパン株式会社は、顧客である外資系企業の人材採用意欲が高かったこと、積極的に顧客と接点を持つ営業施策を強化したこと等から、前年同期を上回る売上高となりました。

また、当社は当期から海外子会社を連結対象としたため、海外の業績が新たに加わりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,665百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益は2,728百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

② 新卒採用事業

景況感の改善に伴い、大企業を中心に新卒採用数を増やす等、企業の新卒採用活動は活性化いたしました。それを受け、当社は平成27年3月卒業予定学生向けの「[en]学生の就職情報2015」の積極的なプロモーションを展開いたしました。その結果、同サイトがグランドオープンした平成25年12月1日時点の会員数、エントリー数は共に前年度を上回る結果となりました。一方、営業活動においては、競争環境が激化したことから想定通りに受注が進まなかったため、前年を下回る売上高となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,010百万円（前年同期比13.5%減）、営業損失は21百万円（前年同期は190百万円の営業利益）となりました。

③ 教育・評価事業

定額制研修サービス「エンカレッジ」は、既存会員企業向けに成功事例を共有し、効果の促進を図るイベントを開催したこと等から、リピート率が向上いたしました。これに加えて新規会員企業の獲得に努めたことから会員企業数が増加し、前年同期を上回る売上高となりました。

また、今期から新たに連結対象となった株式会社シーベースの業績が順調に推移し、計画を上回る売上高となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は443百万円（前年同期比97.6%増）、営業利益は86百万円（前年同期比141.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,431百万円増加し、20,895百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したこと等により流動資産が1,538百万円増加したこと、また固定資産において、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得によるのれんの増加等により無形固定資産が2,693百万円増加し、保有する株式を売却したことにより投資有価証券が1,905百万円減少したことが主な要因であります。

また、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ864百万円増加し、4,049百万円となりました。これは、流動負債において未払法人税等が1,085百万円増加したこと、また固定負債において繰延税金負債が432百万円減少したことが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,567百万円増加し、16,845百万円となりました。これは、当四半期純利益の計上と、配当金の支払いにより利益剰余金が2,524百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1,035百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年5月16日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したNavigos Group, Ltd. と、重要性が増したen-Asia holdings Limitedを連結の範囲に含めております。

また特定子会社には該当しませんが、新たに株式を取得したNavigos Group Joint Stock Company と、重要性が増した株式会社シーベース、en world Singapore Pte. Ltd.、en world Hong Kong Limited、Calibrate Recruitment Pty Ltd.、en world Korea Co., Ltd.を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したThe Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd. と、新たに設立したEn Holdings (Thailand) Ltd.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,349,167	10,819,984
受取手形及び売掛金	1,340,466	1,984,652
有価証券	—	500,000
その他	626,237	542,527
貸倒引当金	△19,577	△12,299
流動資産合計	12,296,293	13,834,865
固定資産		
有形固定資産	497,337	594,358
無形固定資産		
のれん	1,301,141	3,541,272
その他	793,143	1,246,389
無形固定資産合計	2,094,284	4,787,662
投資その他の資産		
投資有価証券	2,289,226	383,963
その他	1,287,726	1,297,714
貸倒引当金	△880	△2,686
投資その他の資産合計	3,576,072	1,678,991
固定資産合計	6,167,694	7,061,012
資産合計	18,463,988	20,895,877
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,697	32,311
未払法人税等	469,094	1,554,134
賞与引当金	501,889	430,016
その他	1,540,840	1,788,451
流動負債合計	2,553,522	3,804,913
固定負債		
長期未払金	102,850	155,144
リース債務	41,039	18,711
長期借入金	—	3,198
資産除去債務	55,497	67,968
繰延税金負債	432,674	—
固定負債合計	632,062	245,023
負債合計	3,185,584	4,049,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	986, 144	986, 144
資本剰余金	1, 452, 708	1, 452, 708
利益剰余金	15, 219, 016	17, 743, 034
自己株式	△3, 438, 187	△3, 438, 187
株主資本合計	14, 219, 682	16, 743, 700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 042, 266	6, 421
為替換算調整勘定	16, 455	△16, 372
その他の包括利益累計額合計	1, 058, 722	△9, 951
少数株主持分	—	112, 191
純資産合計	15, 278, 404	16, 845, 940
負債純資産合計	18, 463, 988	20, 895, 877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	10,236,550	12,080,983
売上原価	1,425,153	1,365,658
売上総利益	8,811,397	10,715,324
販売費及び一般管理費	6,495,344	7,921,875
営業利益	2,316,052	2,793,449
営業外収益		
受取利息	10,720	7,623
受取配当金	36,374	37,500
持分法による投資利益	35,095	54,754
投資事業組合運用益	—	31,128
為替差益	5,516	175,314
雑収入	6,629	9,292
営業外収益合計	94,337	315,613
営業外費用		
投資事業組合運用損	2,662	—
事務所移転費用	14,170	—
雑損失	3,344	8,380
営業外費用合計	20,177	8,380
経常利益	2,390,212	3,100,682
特別利益		
投資有価証券売却益	12,973	2,030,865
関係会社株式売却益	58,122	—
特別利益合計	71,095	2,030,865
特別損失		
固定資産除却損	1,593	10,563
投資有価証券評価損	20,665	—
特別損失合計	22,258	10,563
税金等調整前四半期純利益	2,439,049	5,120,984
法人税、住民税及び事業税	813,851	2,037,822
法人税等調整額	165,415	△18,774
法人税等合計	979,266	2,019,047
少数株主損益調整前四半期純利益	1,459,782	3,101,937
少数株主利益	—	12,616
四半期純利益	1,459,782	3,089,320

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,459,782	3,101,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269,642	△1,035,844
為替換算調整勘定	—	△1,554
持分法適用会社に対する持分相当額	9,076	25,521
その他の包括利益合計	278,719	△1,011,877
四半期包括利益	1,738,501	2,090,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,738,501	2,077,442
少数株主に係る四半期包括利益	—	12,616

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,811,082	1,167,903	224,270	10,203,256	33,293	10,236,550
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,811,082	1,167,903	224,270	10,203,256	33,293	10,236,550
セグメント利益又は損 失(△)	2,127,099	190,138	35,657	2,352,894	△36,842	2,316,052

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,652,286	1,010,444	418,251	12,080,983	—	12,080,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,119	—	24,801	37,920	△37,920	—
計	10,665,406	1,010,444	443,053	12,118,904	△37,920	12,080,983
セグメント利益又は損 失(△)	2,728,226	△21,268	86,041	2,792,999	450	2,793,449

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、Navigos Group, Ltd.及びThe Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd.の株式を取得したため、「中途採用事業」セグメントののれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象による前連結会計年度末からののれんの変動額は、Navigos Group, Ltd.に関して1,969,161千円、The Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd.に関して187,762千円としておりますが、これらは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 The Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd.
(以下、Capstone社)

事業の内容 人材紹介業、人材派遣業

(2) 企業結合を行った主な理由

Capstone社は、タイにおいて2002年から人材紹介業を中心にビジネスを展開しております。同社は管理職、特にエグゼクティブを含む高年収層の人材紹介に強みを持ち、優秀な人材を有しております。

同国の経済成長に加えて、日系企業やグローバル企業が数多く進出していることから、エン・ジャパングループが持つ顧客資産・ノウハウとのシナジーも見込まれ、今回の資本参加により、今後もCapstone社の高い成長が期待できると考えております。

(3) 企業結合日

平成25年12月2日

(4) 企業結合の法的形式

現金による株式取得

(5) 結合後企業の名称

The Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd.

(6) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 73.99% (内間接保有73.98%)

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として株式を取得したことによります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第3四半期連結累計期間には被取得企業の業績を含んでおりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	218,470千円
取得に直接要した費用（アドバイザー費用等）	10,604千円
取得原価	229,074千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

187,762千円

なお、当該事象によるのれんの計上額は187,762千円としておりますが、これは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額と取得原価との差額をのれんとして処理するものであり、人材紹介マーケットの成長が見込まれるタイにおいて、人材紹介に強みをもつCapstone社に期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却